

## 令和2(2020)年度 学校自己評価「最終評価」報告

### 1 本校の今年度学校重点目標

安心安全な学習環境の中で、人権意識を高め、生き生きと学ぶことのできる学校づくりをすすめる。

#### 【学力の定着・向上】

生徒一人ひとりの基本的な生活習慣を確立し、落ち着きと緊張感のある学習環境の中で、基礎基本の定着と学力伸長を図り、将来にわたって自ら学ぶ力を培えるように、丁寧な学習指導をする。

#### 【挨拶の励行】

北部高校の一員であることを自覚し、校内はもとより地域社会等校外においても、気持ちの良い挨拶を励行し、明るく規律ある学校を目指す。

#### 【キャリア教育の推進】

「地域授業」等を通して、地域に感謝し、探究心と生きる力を磨くとともに、社会参画への意識を醸成し、地域社会に貢献できる人材となるための素養を身に付けさせる。

#### 【生徒会・部活動の活性化】

積極的な自主活動に取り組みせ、地道な活動の成果を認め、自尊感情を高めながら、活力溢れる学校を目指す。

#### 【情報発信と地域連携】

本校の教育活動について積極的に情報発信につとめるとともに、地域の振興に資する取り組みを強め、地元自治体や地域住民との連携の強化を図る。

### 2 教職員による学校評価（令和2年11月実施）

評価項目	A：十分満足	B：やや満足	C：やや不満足	D：不満足
学習指導	14.5%	62.5%	21.1%	2.0%
進路指導	24.8%	63.8%	11.4%	0.0%
キャリア教育	9.5%	81.0%	4.8%	4.8%
生徒指導	13.6%	72.7%	13.6%	0.0%
生徒会活動	8.0%	73.9%	18.2%	0.0%
開かれた学校づくり	15.7%	78.0%	6.3%	0.0%

#### 特徴的な点

##### (1) 学習指導

生徒の興味関心や進路に沿った授業展開からの基礎学力定着、各種検定の取得には工夫がなされている。さらに今後は、ICT 機器の活用による授業展開の工夫が求められる。また、「学びの保証」の観点から家庭学習の在り方や取り組みについて研究・実践が行えるような工夫が求められる。

##### (2) 進路指導

今年度も、企業見学、ジュニアインターンシップ等への参加を通しての職業観の育成に係る取り組みの評価が高かった。新型コロナウイルスの影響も受け進路実現するうえでより一層、基礎学力の定着が求められる。

### (3) キャリア教育（総合的な探究の時間）

新型コロナウイルスの影響で計画通りの授業展開はできなかったものの、「地域授業」は、生徒の主体的行動力の育成の点で、校内外で一定の成果を得てきた。今後、生徒が体験学習の成果をまとめ、地域社会への感謝と貢献の意思の醸成をはかる必要がある。

### (4) 生徒指導

個別指導やカウンセリング指導等の相談事業、交通安全指導、人権感覚の向上に係る取り組みには、一定の評価を得た。一部の生徒ではあるが、遅刻の常習化、身だしなみの乱れ、列車内や駅構内でのマナーの悪さ等、今後の指導が待たれる部分も残る。またネットリテラシーの観点からも生徒への指導を促す必要がある。

### (5) 生徒会活動

地域活動、ボランティア活動等を通して、生徒自身が責任感や自信を持てるようになってきている。各種活動を執行部だけでなく、全校生徒へと広げていく工夫が必要である。また、定数減に伴い部活動のあり方については、今後も継続して検討していく必要がある。リモートでの開催となった北斗祭では3年生の執行部の生徒を中心に企画・運営をやり遂げることができた。

### (6) 開かれた学校づくり

ホームページや広報紙などの広報活動、地元小学校・中学校との授業交流などが高く評価され、学校評議員、保護者、地域からも理解されている。今後、生徒数減にどう対応するかが、継続する課題である。

### (7) 全体として

昨年度に比べると、各項目のA評価ならびにB評価は上昇し、安定してきている。特に、キャリア教育の伸びが大きい。人事異動により、職員の入れ替えが大きく行われるなか、良き伝統の継承と必要な改善を判断する力が求められる。

## 3 保護者による学校評価（令和2年12月実施）

※集計結果は別頁。

特徴的な点

#### (1) A評価とB評価の計が70%を超える、評価の高い項目としては、

⑧総合的な学習の時間「地域」や学校行事等で、様々な体験ができる指導をしている。（AB計 89.3%）

⑮学校は、ボランティア活動やインターンシップ（就業体験）を育成している。（AB計 89.3%）

⑭学校は、早期から進路に対する目標の意識付けを行っている。（AB計 82.4%）

などがあげられる。昨年同様に、「地域授業」、進路指導等が高い評価を得ている。

#### (2) D評価とE評価の計が6%を超える、今後の課題とすべき項目としては、

⑦子どもから「全体的に授業に満足している」と聞いている。（DE計 8.3 %）

⑩学校は心身の悩みに応えた指導を行っている。（DE計 6.5 %）

⑫学校は、保護者との連携を密にした指導を行っている。（DE計 7.1 %）

などがあげられる。日頃から、生徒、保護者の話や声に耳を傾け、授業、クラブ活動の改善すべき点を見出ししていくことが必要と思われる。